

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークⅡ (4単位)	3. 科目番号	SCMP2356 SBMP2156 SPMP2156 PSMP2456
2. 授業担当教員	北爪 克洋		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワークⅡは、ソーシャルワークⅠで学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理などを前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、分野を問わずソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス（相談援助の展開過程）についての理解促進を軸に、その過程において必要とされる面接技術や記録技術、アウトリーチや交渉といった専門知識と技術について学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。</p>		
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.「相談援助」について理解を深めるとともに、その構造と機能について理解する。</li> <li>2.人と環境の相互作用について理解する。</li> <li>3.相談援助における援助関係について理解する。</li> <li>4.相談援助の展開過程において、各過程の目的、方法（技術）について理解する。</li> <li>5.アウトリーチの目的、方法について理解する。</li> <li>6.相談援助における面接技術について理解する。</li> <li>7.相談援助における記録技術について理解する。</li> <li>8.相談援助における交渉技術について理解する。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>レポート課題1：ソーシャルワークに必要とされる視点と態度について講義をもとに解説せよ。 レポート課題2：ソーシャルワークにおけるアセスメントの特性と必要な技術について説明せよ。 レポートはいずれもA4 2枚(2880字)にまとめる。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『相談援助の理論と方法Ⅰ（新・社会福祉士養成講座7）』第3版、中央法規出版、2015年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8つの目標について理解し、説明することができたか。(知識・理解)</li> <li>・8つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践)</li> <li>・8つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度)</li> </ul> <p>○評定の方法 レポート課題 (25%) 定期試験 (50%)、受講態度 (25%) による総合的評価</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>ソーシャルワークⅡでは主に相談援助についての学びを深めます。相談援助はソーシャルワーク実践の核をなす重要な援助技術でもあります。したがって学生たちは授業の復習や準備を欠かすことなく授業に臨んでください。授業では常に高い緊張度と集中力を維持する必要があります。</p>		
13. オフィスアワー	<p>別途通知します。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション： ソーシャルワークⅡを学習するにあたっての説明と確認 ソーシャルワークⅠの振り返り	事前学習	「社会福祉」について自分の言葉で説明できるよう、ノートにまとめておく。
		事後学習	講義を踏まえて「社会福祉」について自分の言葉でノートにまとめる。
第2回	社会福祉の概念的理解： 「社会福祉」をどのように説明するか？	事前学習	「社会福祉」について自分の言葉で説明できるよう、ノートにまとめておく。
		事後学習	講義を踏まえて「社会福祉」について自分の言葉でノートにまとめる。
第3回	ソーシャルワークの概念と範囲：① 映画『ターミナル』からソーシャルワークを考える	事前学習	テキスト pp.2～18 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第5回の講義時に提出する。
第4回	ソーシャルワークの概念と範囲：② 国際的ソーシャルワークの定義について理解する	事前学習	テキスト pp.2～18 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第5回の講義時に提出する。
第5回	ソーシャルワークの職種と専門性： ソーシャルワークの「仕事」と「職場」	事前学習	テキスト pp.19～25 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第7回の講義時に提出する。
第6回	ソーシャルワークの理念と原則： ソーシャルワーク実践の根底にあるものは何かを知る	事前学習	「社会正義」について調べ、自分の言葉で説明できるようにする。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第7回の講義時に提出する。

第7回	ソーシャルワークの倫理： 倫理綱領とは何か？	事前学習	社会福祉士の倫理綱領を一読し、その内容について教員へ確認すべき事項を箇条書きする。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第9回の講義時に提出する。
第8回	ソーシャルワーク実践上のディレンマ	事前学習	社会福祉士の倫理綱領を一読し、その内容について教員へ確認すべき事項を箇条書きする。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第9回の講義時に提出する。
第9回	総合的かつ包括的なソーシャルワーク実践Ⅰ：事例を通じてソーシャルワークの構造を知る	事前学習	第8回に配布されたレジュメに記載されている課題（ジェノグラムを見て考える）について自己の考えをノートにまとめる。
		事後学習	ワークシートの設問3・4について各自記入する。
第10回	総合的かつ包括的なソーシャルワーク実践Ⅱ：事例を通じてソーシャルワークに必要な視点と態度を学ぶ	事前学習	第8回に配布されたレジュメに記載されている課題（ジェノグラムを見て考える）について自己の考えをノートにまとめる。
		事後学習	ワークシートの設問3・4について各自記入する。
第11回	総合的かつ包括的なソーシャルワーク実践Ⅲ：事例を通じて「人と環境の相互作用」を理解する	事前学習	ワークシート内容に目を通し、事例の概要を明確にする。テキスト pp. 53～67 を参照。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第13回の講義時に提出する。
第12回	ソーシャルワークにおけるニーズ： ニーズの多様性について事例を用いて理解を深める	事前学習	ワークシート内容に目を通し、事例の概要を明確にする。pp. 44～51 を参照。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第13回の講義時に提出する。
第13回	マイクロからメゾ、マクロを包括したソーシャルワーク実践について（事例紹介）	事前学習	テキスト pp. 27～43 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第15回の講義時に提出する。
第14回	ソーシャルワーク実践と援助関係： ソーシャルワーカーとクライアントとの関係性について理解を深める	事前学習	テキスト pp. 69～93 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	課題1の作成（講義内で示される提出期限厳守）。
第15回	ソーシャルワークの展開過程Ⅰ： ソーシャルワークの展開過程の全体像を理解する	事前学習	テキスト pp. 95～101 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第17回の講義時に提出する。
第16回	ソーシャルワークの展開過程Ⅱ： ケースの発見からアセスメント	事前学習	テキスト pp. 102～126 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第17回の講義時に提出する。
第17回	ソーシャルワークにおけるアセスメントの特性と技術を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 182～204 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト（事例）」を記入し、第19回の講義時に提出する。
第18回	アセスメント演習を通じて学んだことの実践を行う	事前学習	テキスト pp. 182～204 を熟読し、その内容を確認する。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト（事例）」を記入し、第19回の講義時に提出する。
第19回	ソーシャルワークの展開過程Ⅲ： アセスメントからプランニング・支援の実施	事前学習	テキスト pp. 127～136 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト（事例）」を記入し、第21回の講義時に提出する。
第20回	プランニング演習を通じて学んだことの実践を行う	事前学習	テキスト pp. 206～222 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト（事例）」を記入し、第21回の講義時に提出する。
第21回	ソーシャルワークの展開過程Ⅳ： モニタリングと評価・効果測定	事前学習	テキスト pp. 138～153 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	課題2の作成（講義内で示される提出期限厳守）。
第22回	ソーシャルワークのモニタリングと効果測定・評価の技術を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 224～248 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	課題2の作成（講義内で示される提出期限厳守）。
第23回	面接技法Ⅰ：面接の必要性和果たす役割を理解する	事前学習	テキスト pp. 250～268 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第25回の講義時に提出する。

第24回	面接技法Ⅱ：面接に必要となる技術を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 250～268 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第25回の講義時に提出する。
第25回	面接ロールプレイ	事前学習	テキスト pp. 269～293 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布される事例について、学んだ知識を用いて模擬的に記録を作成する。
第26回	記録の意義と方法：ソーシャルワーク技術としての記録について事例を基に技術を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 269～293 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布される事例について、学んだ知識を用いて模擬的に記録を作成する。
第27回	“交渉”とソーシャルワーク：ソーシャルワークにおける交渉の持つ意義と役割を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 296～315 を熟読し、その内容をノートに記入する。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第29回の講義時に提出する。
第28回	これまでの学びについてのまとめ：事例を用いてソーシャルワークの展開過程とその他技術について総合的にその内容を確認する	事前学習	これまでの資料等を整理し、学習内容を振り返る。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第29回の講義時に提出する。
第29回	これからのソーシャルワークの課題と展望Ⅰ（ジェネリック）	事前学習	29回の講義において疑問となっている点を箇条書きにする。
		事後学習	ソーシャルワーク実践上の課題について配布されたレジュメをまとめる。
第30回	これからのソーシャルワークの課題と展望Ⅱ（スペシフィック）	事前学習	29回の講義において疑問となっている点を箇条書きにする。
		事後学習	ソーシャルワーク実践上の課題について配布されたレジュメをまとめる。
期末試験 ・ソーシャルワークの支援過程（ソーシャルワーク・プロセス）に関する理解を問う。 ・講義内で扱った専門用語に関する理解を問う。 ※試験の詳細については、講義の中で提示する。			